

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

～若者自立支援と地域再生－横浜・神奈川からの挑戦～

「若者リバイバルフォーラム2007」を8月4日に開催します

いま、横浜に暮らす若者の約10人に1人は、仕事に就けない状態にあります。
また、「ワーキング・プア」と呼ばれる、働いても貧しい暮らしを余儀なくされている若者たちも増えつつあります。

地域社会や都市の活力を高めるためには、これらの若者たち一人ひとりが社会・経済的に自立し、元気になる必要があります。そのためには、どうしたらよいのでしょうか。

若者たちが元気になり、誰もが生き生き暮らせる地域を創る－その方法を、みんなで考え、明日の横浜・神奈川のグランドビジョンを描くため、「若者リバイバルフォーラム2007」を開催します。

開催日：2007年8月4日（土）

第1部 分科会 午前10時～正午 市内の若者自立支援の現場4か所で開催
第2部 総合シンポジウム 午後2時～午後5時 新都市ホール
(横浜駅東口・そごう9階)

第1部 分科会（詳しい内容・会場は参加ご希望の方に別途ご案内します）

- ①若者の力で復興する商店街・・・磯子区・若者自立塾と「浜マーケット」など
- ②世代を超えた連携で街の魅力を創る・・・保土ケ谷区・天王町地区の活動など
- ③若者を元気にする都心・・・よこはま若者サポートステーションの取組など
- ④「ひきこもり」からの再スタート・・・県立青少年センターの取組など

第2部 総合シンポジウム

基調講演(午後2時～午後2時50分)

「若者の社会・経済的自立に向けた課題と包括的支援の方向性」

放送大学教授・市青少年自立支援協議会座長 宮本 みち子先生

分科会からの報告・提言(午後3時～午後4時)

会場との意見交換(午後4時～午後4時50分)

横浜・神奈川若者元気都市宣言(午後4時50分～午後5時)



このフォーラムは、若者の自立と地域再生を結びつけた全国で初めての試みであり、横浜市内や神奈川県内の企業・団体・公的機関はもちろん、厚生労働省の後援により、全国80の関連する団体・機関にも参加を呼びかけ、開催します。



シンポジウムの最後には、自立に取り組む若者たち自らが集い、地域の活性化を呼びかける「横浜・神奈川若者元気都市宣言」を発信します。

【参加申し込みについて】

第1部：全体で定員150名(先着順：7月25日締切。参加される方には別途、会場等のご案内を差し上げます)

第2部：400名(先着順：7月31日締切)。保育・手話通訳あり(要事前申込)。
いずれも無料、個別参加も可。交流会(17:30～19:30)は会費3000円(要事前申込)

【申し込み先】横浜市こども青少年局企画調整課 電話671-4281 FAX663-8061
Eメール kd-kikaku@city.yokohama.jp